

Tanium XEM Core

環境内のIT資産をくまなく可視化し、あらゆるエンドポイントの正確な状態をリアルタイムに把握して、場所や規模を問わずすべてのエンドポイントとセキュリティを一元管理

見えないものは、守れない。Taniumのコンバージド・エンドポイント管理 (XEM) Coreで、自社の環境の基本的な情報を把握し、主要な設定を制御して、リスクを管理

増え続けるエンドポイントに生じる死角

エンドポイントは今や至る所に存在します。企業では、機能や役割にあわせたデバイスやアプリケーションの複雑な分散型ネットワークが展開されており、エンドポイントは業務を推進すると同時に、運用やセキュリティのリスク要素にもなります。そして多くの企業は、エンドポイントに潜むリスクを可視化できていません。

リスクが発生する理由は単純です。多くの企業では、IT資産をくまなく検出してインベントリを作成するためのツールがそろっておらず、自社環境内のエンドポイントやコンテナ上の豊富なデータを十分に可視化できていないことが原因です。連携しないポイントツールでは、データを統合できず、十分に可視化することはできません。その結果、リスク情報を基にリアルタイムに意思決定を行うことができなくなります。未検知のエンドポイントが新たに発覚した経験をもつIT意思決定者の割合は94%にのぼる、という調査結果も出ています。

最も大きな問題は、セキュリティ インシデントや運用事故が発生した際に、従来のポイントツールでは、被害が拡大する前に、インシデントの対応に必要なリアルタイムのデータを取得できないことです。

数十億ドルを投じてツールを導入しても、エンドポイントに関する正確なデータを取得できていません。最新ではなく不完全なデータで社内環境を可視化しようとしても、重要な資産を管理・保護することはできないのです。

その結果、何が起こるのでしょうか？

70%

存在を把握していなかったIT資産経由での侵害を経験した企業の割合

94%

これまで把握していなかったエンドポイントが新たに発覚した経験をもつIT意思決定者の割合

3倍

コロナ禍以降、IT資産の可視化不足により、セキュリティインシデントの発生確率が3倍増加

その場しのぎの対応

IT運用チームやセキュリティチームがパッチ適用やインシデント対応などの際に場当たりの対応に終始

情報を把握できず、質問に答えられない

IT部門長や経営層が自社のIT資産の規模や健全性に関する基本的なことを聞かれても、答えられない

セキュリティリスクの増大

社内に未知のエンドポイントや未検出の脆弱性が氾濫し、運用リスクやセキュリティリスクが増加

「すべてをリアルタイム
に実行できるのがTanium
のすばらしいところです。
もう古いデータを使うこと
はありません。今では、
実際の環境の状況がすべ
てに反映されています」

Genpact社

グローバルエンタープライズアーキテクト
アンリ・ノムラ氏

規模を問わず、すべてのエンドポイントを、数秒 でリアルタイムに可視化するプラットフォーム

環境内のあらゆるエンドポイントをエンドツーエンドで可視化するTanium XEM Coreが、リアルタイムで正確なデータを提供し、社内を保護してパフォーマンスを維持するために必要なエンドポイント管理とセキュリティ対策をサポートします。

XEM Coreを使えば、これらを実現できます。

- ITチームやセキュリティチームが基本的な制御や是正アクションの適用先を特定し、優先度別に対応すると同時に、すべてのエンドポイントツールやチームが共有できる情報を一元管理
- 社内のエンドポイントをすべて正確かつ完全に網羅した最新データを数秒で入手し、IT部門長や経営層が自社環境に関する基本的な情報を把握して、質問に回答することが可能に
- エンドポイントのリスクを検出して追跡管理すると同時にコストを削減し、未使用のIT資産にかかる予算を自動的に回収して、侵害や罰金が発生する確率を低減

すべてのエンドポイントを検出して インベントリを作成

クラウド、VPN接続/非接続、リモート、オンサイトを問わず、環境内のエンドポイントをすべて可視化し、エンドポイント単位で詳細情報を収集。管理対象エンドポイントの幅広い属性を監視。

ソフトウェアの使用状況を管理し、 投資回収の判断材料に

環境内のリアルタイムデータ（どのデバイスでどのソフトウェアを使用しているか）を収集。各エンドポイント上のアプリケーションをすべて管理して、各アプリが最後にいつ、どのエンドポイントで使用されたかを確認し、未使用のソフトウェアにかかるコストを回収して、予算を大幅に削減。

管理対象エンドポイントのリスクを 評価

高リスクのエンドポイントを表示してリスクを緩和し、多種多様なデータの中で重視すべき領域を特定して、最も重要なエンドポイントを最優先に対応。リスク指標を同業他社と比較し、リスク緩和に役立つ実用的な計画を作成。

ランタイムライブラリ、オープンソース フリーウェア、ソフトウェアパッ ケージを検出

エンドポイント上にあるオープンソースのソフトウェアコンポーネントをすべて検出して脆弱性の有無を判定し、パッチ適用、プロセスの強制終了、アプリの更新・アンインストール、侵害の予防対策を実施して、新たな攻撃から社内を保護。

収集したデータをもとにセキュリティ/ コンプライアンスのレポートを作成

ソフトウェア/ハードウェア資産全体の正確なデータを、何週間、何カ月もかけることなく、わずか数分で収集。IT資産に関する質問に答え、一元管理した情報でチーム間の連携を強化し、社内/社外の監査の準備を効率化。

証明書をインベントリ化して有効期限 を管理

エンドポイント上のデジタル証明書を検出して各証明書の詳細データ（健全性、格納場所、セキュリティ、許可ステータスなど）を収集することで、証明書の有効期限切れや脆弱性によるアタックサーフェスの拡大やシステム障害リスクを低減。

規模を問わず、環境内のあらゆるエンドポイントをリアルタイムに可視化し 単一画面で確認できる統合型ソリューション

XEM Coreで、環境内のすべてのエンドポイントと、その稼働状況をより正確に可視化し、重要な制御・修復の基盤としての機能

可視化

IT資産をリアルタイムに可視化し、インベントリを作成。非管理/未承認のエンドポイントやソフトウェアサプライチェーン全体を含む、エンドポイントの情報を、わずか数分で完全かつ正確に取得。

- 多くのケースで、お客様が把握していなかったエンドポイントや非管理のIT資産を検出（最大20%相当を新たに検出）
- リアルタイムで正確なエンドポイントデータで CMDBを補完し、IT資産の情報を一元管理してチーム間で共有
- ITハイジーン、セキュリティ、規制準拠、インシデント対応に関する、リアルタイムなりスク情報に基づいた意思決定をサポート
- 事前設定済のグラフ、ダッシュボード、レポートで監視作業を簡素化し、関係者とのコミュニケーションを促進
- エンドポイント管理とセキュリティ対策による影響を、社内ベンチマークや同業他社と比較して追跡管理

制御

複数のチームやツールを横断して正確かつ包括的なリアルタイム制御を実現。XEM Coreが提供する可視性を、社内全体のIT運用、セキュリティ、リスク機能の包括的基盤として活用。

- 用意された統合機能やオープンAPI で、XEM Core のデータを主なIT運用・セキュリティツールに連携
- ServiceNow や Splunk をはじめとする SOAR/SIEM/CMDB ツールにTaniumのデータを反映しツールの効果を拡充
- 環境に関する基本的な質問への回答をリアルタイムに入手し、リスク低減、コスト回収、インシデント対応の判断材料として活用
- 環境内の非管理エンドポイントを検出して、適切に制御
- エンドポイントのポリシーや設定を確認・管理してリスクを低減し、ゼロトラストに基づくセキュリティ戦略を推進

是正

IT担当者がエンドポイントの可視化に費やす時間と工数を削減。エンドポイントのリアルタイムな状況を確認する作業をTaniumで簡素化・合理化・自動化することで、複雑なポイントツールの併用や手動プロセスから脱却。

- IT資産の種類や場所を問わず、エンドポイント上のすべてのデータをシングルエージェントで収集
- クラウドベースのソリューションで、導入とインフラのコストを削減
- 軽量分散アーキテクチャで、大規模環境やクエリ実行時にパフォーマンスへの影響を最小限に
- 未使用ソフトウェアを検出することで、数百万ドル規模のライセンス費用を節約
- Taniumの各モジュールで、エンドポイント管理とセキュリティに関する主要ワークフローをすべて単一コンソール画面で実行

デモをお申し込みください！

あらゆるエンドポイントをすべてリアルタイムに可視化、制御、修復する
Taniumの一連の流れをデモで紹介します。

[詳しくはこちら→](#)